

みやぎのだより

No. 99

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成29年7月25日

みやぎの酪農農業協同組合 第68回通常総会



第68回 通常総会

CONTENTS

第68回通常総会開催	1	食楽まつり2017	8
就任の挨拶 代表理事組合長 伊藤 一成	2	牛乳乳製品利用料理コンクール募集のお知らせ	8
就任の挨拶 代表理事専務 伊藤 一彦	3	売りたい、買いたい 初妊牛売ります	9
みやぎの酪農農業協同組合 新役員名簿	4	理事会通信	9
輸入粗飼料情勢	5	人事のお知らせ	9
牛群検定～優良事例紹介～Vol.6	6	業務報告	10
平成29年度 生乳需給状況について	7	編集後記	11
牛乳の日PRキャンペーン	7		

第68回通常総会開催

総務課

平成29年6月27日、大和町吉岡「まほろばホール」において、第68回通常総会を開催しました。午前10時30分、伊藤代表理事専務の開会宣言のあと、平成28年度良質乳出荷者及び購買品高位利用者の表彰式が行われ、良質乳出荷者42名の代表として、角田支部 佐藤俊様、購買品高位利用者32名の代表として豊里支部 斎正志様に対し表彰状及び副賞を贈呈し、その功績を讃えました。

続いて伊藤代表理事組合長から、「輸入への依存度が強まりつつある我が国の酪農乳業を巡る環境は従来以上に不確実性が高まり、国内では北海道での低気圧や台風襲来、熊本での地震など自然災害が相次ぎ酪農生産も広範囲に大きな被害があった一年であった。指定団体制度が1年を通して話題となったが、指定団体機能は酪農の経営安定に不可欠であり、用途別の需給の安定が図られるよう引き続き政府与党に求めるとともに、指定団体の共販体制の維持強化に努めていく。この様な厳しい経営環境の中、当組合は酪農生産基盤の維持拡大を最優先事項と位置づけ、生産活動に専念出来る環境整備の実現と営農生活の安定向上を目指した事業運営に努め、総じて計画どおりの成績を収める事ができた事に対し深甚なる敬意と感謝の意を表す。29年度は酪農政策や組織を巡る議論など大きな変革の年となる事が予想されるが、酪農の持続的発展に貢献出来る組織となれるよう引き続き生産現場と向き合い、さらに組合員に対する奉仕と組合経営の維持発展に向け調和の取れた組合経営を目指し各種施策に邁進していく」と開会のあいさつを述べました。

そのあと来賓の祝辞として、宮城県農林水産部 武藤部長(代読)、全国酪農業協同組合連合会 小谷常務理事、東北生乳販売農業協同組合連合会 高橋代表理事専務からそれぞれ祝辞をいただきました。

議長には白石支部 安彦貞一氏が選出され、提出議案の第1号議案から第8号議案まで全議案原案通り承認可決されました。

■開催日現在正組合員数および出席正組合員数

開催日現在正組合員数	294名
出席正組合員数	275名
出席形態別内訳	本人出席 77名
	代理出席 8名
	書面出席 190名



議長 白石支部 安彦貞一 様



良質乳出荷者表彰 代表受賞 角田支部 佐藤 俊 様



購買品高位利用者表彰 代表受賞 豊里支部 斎 正志 様

就任の挨拶



みやぎの酪農農業協同組合
代表理事組合長

伊藤 一成

梅雨も後半に入り猛暑が続いておりますが、組合員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

九州北部地方は、集中豪雨による河川の氾濫、土砂崩れにより多数の死者・行方不明者が出ている模様で、酪農家にも深刻な被害が及んでいる状況に心からお見舞い申し上げる次第であります。

さて、去る6月27日の第68回通常総会後の理事会に於きまして組合長に再任いただき、身の引き締まる思いでございます。酪農をめぐる情勢に尽きましては、一昨年、10月の「農水省生産局長通知」による指定団体の「生乳流通の在り方」や「一県一団体化」に向けて検討を始めていた矢先に昨年3月に「指定団体廃止」と言う答申を政府の規制改革推進会議から受け衝撃が走りました。しかし、酪政連を始め、関係者の皆様の努力により「指定団体」は残された形となりましたが「加工原料乳暫定措置法」が廃止され、恒久法である「畜安法」に統一され細部については政省令で定めるとなっておりますが、いいところ取りが出来ないよう注視している所であります。

国際的には、日欧EPAの大枠合意などまだまだ不安な要素もありますが、組合員の皆様が一番関心のある事柄は「一県一団体化」についてではないかと思っております。現在、集乳施設の集約と路線の合理化の検討を始めた所であり、関係者の声をお聞きしながら慎重な判断をしてまいりたいと思っております。

最後になりましたが、私は組合員の皆様に寄り添った組合経営を目指しておりますのでご指導の程宜しくお願い申し上げますと共に御健勝をお祈り申し上げまして就任の挨拶と致します。

就任の挨拶



みやぎの酪農農業協同組合
代表理事専務

伊藤 一彦

組合員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

先日開催された、第68回通常総会にご提出いたしました、全議案を承認、可決いただきありがとうございました。また、総会終了後の理事会において再び代表理事専務に選任され、責任の重大さを感じているところであります。

今、酪農家戸数の減少になかなか歯止めがかからない状況にあります。これにもいくつかの理由があるものの酪農家が安心して経営が出来る乳価の確保が一番であり、乳量が足りない今、各方面への働きかけを強めてまいります。

一方、宮城県内において、昨年より経費の節減を行うべく「宮城県酪農団体合理化検討会」を立ち上げ、集乳路線及び集乳施設の合理化に向けて、3団体による協議を重ねており今年度中に一定の方向を出し、経費節減への道筋を出してまいります。

酪農乳業界は、極めて神経質な政治的課題として先に成立した畜安法の具体的な制度運用のフレームをめぐる議論や現在、まさに大詰めの局面と映る、日欧EPA交渉の問題等、大きな影響が懸念され、不透明感を高めだした国政であります。

このような状況の中、酪農専門農協としての使命を認識し、皆様の負託に応えられる「組合員第一」を年頭に安心して酪農経営が出来る環境づくりに取り組んでまいります。常に前を見て、組合員の皆様の思いが成就されるよう先見性・決断力をもって組合運営に携わる決意でありますので皆様のご協力を切にお願い申し上げます就任のご挨拶といたします。

みやぎの酪農農業協同組合 新役員名簿

総務課

役職名	常勤・非常勤の別	氏名
代表理事組合長	常勤	伊藤 一成
代表理事専務	常勤	伊藤 一彦
代表理事会長	非常勤	砂金 甚太郎
理事	非常勤	須藤 元晴
理事	非常勤	佐藤 孝雄
理事	非常勤	濱田 茂
理事	非常勤	山家 善明
理事	非常勤	佐々木 貞裕
理事	非常勤	山内 完二
理事	非常勤	青木 五一
理事	非常勤	江場 稔一
理事	非常勤	村上 利雄
理事	非常勤	堀籠 銀寿
理事	非常勤	芳村 宏
代表監事	非常勤	佐藤 幸生
監事	非常勤	伊藤 仁一
監事	非常勤	市川 ひろ拓



①北米コンテナ船情勢

一部の船会社から8月のGR I (海上運賃一斉値上げ)の通知が出ていますが、多くの船会社ではGR Iの動きはありません。しかし、北米からの農産物の輸出が増える秋口に向け、海上運賃の動きが出る可能性はあると考えられます。

②ビートパルプ

新穀の作付は5月中旬で終了しています。生育状況は、過去5年の平年並みの水準で推移しています。主産地のミシガン州では作付面積は5%程度減少しています。春先の天候が不安定だったことから、作付が大幅に遅れ、再播種を余儀なくされた畑もありましたが、播種後の天候は良好で順調な生育を見せています。

③アルファルファ

(A)ワシントン産

主産地コロンビアベースンでは1番刈の収穫が終了し、南部の一部圃場では2番刈の収穫が始まっています。

全体として例年並みの50～60%程度の雨あたりが発生していますが、降雨被害が70～80%に及んだ昨年、一昨年に比べると、今年の作況は良好となっております。

品質面では、天候の影響を受けず適期に収穫されたものは、葉量が多く成分は高い傾向にあります。一方で、夜露の当たり方が不十分で強風の影響を受けたものは、葉離れや葉崩れが見られ、降雨を避けて刈り取られたものは刈遅れ気味のものも発生しています。

産地価格は、カリフォルニア州南部の相場上昇および米国内酪農家が積極的に高成分の上級品の買付を進めている影響で、特に上級品において、強含みで取引が行われています。

(B)オレゴン産

南部では気温が上がらず天候も不安定な期間が続き、収穫作業は昨年よりも2週間程遅れて6月中旬から始まりました。収穫期も天候が不安定で、一部の地域では60～70%前後の圃場で降雨被害が発生しています。

中部も6月中旬より収穫作業が開始されました。雨あたりの被害は少なく、収穫は比較的順調です。

産地相場は国内酪農家に牽引され上昇している模様です。

④チモシー

(A)US産

5月末に刈り取りを開始した一部の圃場では、降雨の被害なく良品が収穫されましたが、これら良品に買い付けが集中し、産地相場は想定よりも大幅に上昇しています。その後、刈り取りは本格化していますが、散発的な降雨もあり、全体の作柄が定まっておりません。

(B)カナダ産

レスブリッジ周辺では、6月下旬から刈り取りが始まりました。作柄は良好で、収穫されたものの多くは上級品に仕上がっているようです。一方、産地価格は他産地と同様、昨年に比べ上昇しています。新穀の船積みは7月中旬以降から随時始まる見込みです。

⑤クレイングラス

17年産は6月末時点で2番刈まで終了しています。全体の収穫進捗は例年よりやや早めで、一部の圃場では3番刈の収穫を開始しているところもあります。今のところ天候にも恵まれており、品質面では大きな問題はないようです。

⑥豪州産オーツヘイ

現在ほぼ全域で新穀の播種が終了していますが、西豪州の降雨不足が深刻化し始めています。特に西豪州北部、中部ではそれが顕著な状況です。例年では播種後、6月末頃には10～15cmの草丈になりますが、今年は2cm程度までしか生育していません。早くも新穀不足を懸念し、繰り越し在庫を持つ動きを見せているところもあります。徐々に価格も上昇し、特に上級品については強含みとなってきています。

以上このような状況の中、飼料等の安定供給に務めてまいります。

組合員の皆様には、購買事業に対しましてご理解を賜り、ご利用くださいますようお願い申し上げます。

株式会社 布田牧場

●牧場の概要(平成29年5月17日現在)

- *所在地：岩沼市小川 *代表：布田達夫
- *飼養頭数：経産牛34頭(搾乳頭数29頭)
- *年間出荷乳量：約340t
- *補正乳量：約11,600kg/頭



●牧場のこだわりと目指すもの

フリーストール牛舎にて、牛を快適に飼養することで、肢蹄故障等の発生を抑えています。また、堆肥は完熟堆肥とし、フリーストールに戻すことで、牛床や通路の乾燥が促され、牛体を清潔に保つことができます。おかげで、体細胞数は100千/ml以下になることが多く、乳房炎の発症もほとんどありません。

配合飼料と購入粗飼料をミキサーで混合した自家製TMRを給与しています。その結果、乳量と乳質は年間通して安定し、MUNも適正範囲となっています。

繁殖は、人工授精は行わず全て黒毛和種の受精卵移植(ET)とし、ホルスタイン後継牛導入も黒毛和種のETをつけた初妊牛としています。黒毛和種の子牛は、2ヶ月齢で出荷するため、自家育成はほとんど行わず省力化を図っています。乳牛の自家育成から導入に切り替えた当時(5年前)は、飼養管理に戸惑いもありましたが、現在は導入後すぐに牛の性格(くせ)を見つけ、個体毎に対策することで問題なく管理しています。

生乳の出荷と和牛ET産子の出荷を行うことで収益性の高い経営ができます。

また、自給飼料を生産していないため、堆肥の処理に困ると思われるかもしれませんが、完熟堆肥なため近隣農家や家庭菜園からの需要が高く、堆肥販売による収入があります。これからも牛の快適性に努めながら、収益性の高い酪農経営と省力化を目指していきます。

●牛群検定の活用方法

①体細胞数

牛群検定情報では、真っ先に体細胞数を確認します。過去にペナルティが一度だけあり理由は体細胞数が高かったためですが、乳代が減らされ衝撃を受けたことを記憶しています。それ以降は、牛群の体細胞数が高ならないよう適切な乳牛の淘汰更新や飼養管理の徹底を行っています。

②暑熱対策

牛舎には常に扇風機を設置していますが、気温が30℃以上になる日はフリーストールの一角に細噴器を設置します。すると、牛が寄ってきて涼んでおり効果を実感します。暑熱対策による効果は、乳量が減らないことです。さすがに猛暑の時は乳量が減少しますが、暑熱対策を行うことで乳生産の回復が早くなるようで、牛群検定情報からも季節による乳量の差が少ないことが分かります。



●牧場から一言

現在は、黒毛和種のETにこだわっていますが、飼養している牛の遺伝的改良が進んできたことから、今後は、自家採卵による乳牛の雌牛ETも検討していきたいと考えています。

それと我が家の目標は、生涯乳量を伸ばすことです。現在10万キロを超えた牛が8頭おり、うち2頭は現在も飼養中で、都府県の記録である16万キロに挑戦中です。若い酪農家の皆さん、見学に来たい時は気軽に連絡して下さい。



(文：亙理農業改良普及センター 庄子)

(株)布田牧場 代表 布田 達夫さん

牛群検定には6ヶ月間無料で体験できるお試し検定事業があります。
牛群検定を始めてみようかな、と思われた方は下記までご相談下さい。

- ・宮城県ホルスタイン協会 ((一社)宮城県畜産協会内) TEL: 022-298-9750
- ・県南乳用牛群改良組合 ((一社)宮城県畜産協会仙南事業所内) TEL: 0224-52-2523
- ・県北乳用牛群改良組合 ((一社)宮城県畜産協会中央事業所内) TEL: 0229-34-3304

平成29年度 生乳生産実績

販売課

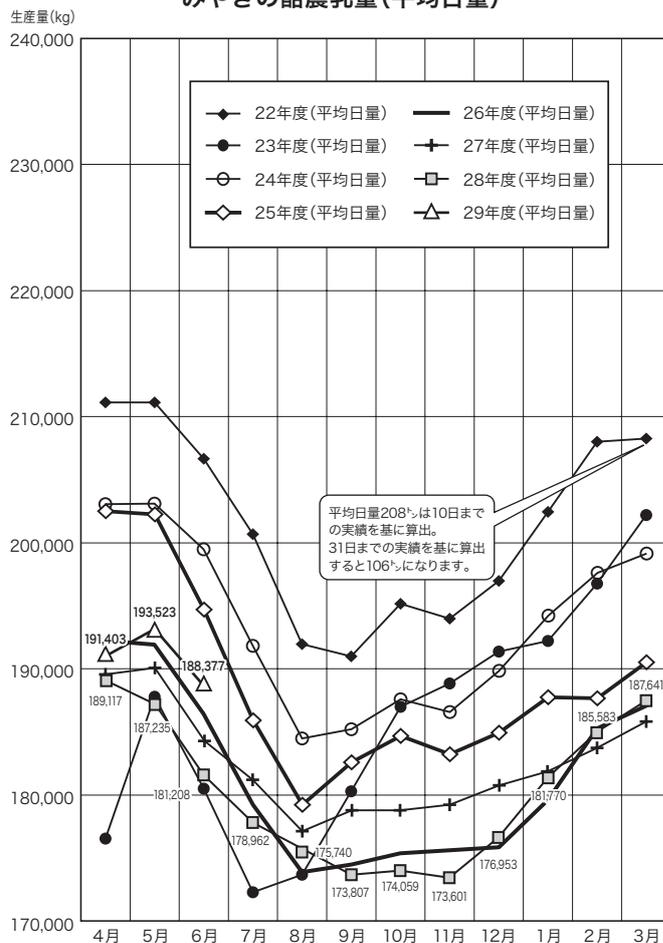
平成29年度生乳生産実績(4月～6月 標準進捗率24.93%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進捗率
白石支部	22	1,652,185.2	1,575,273.1	104.88	6,416,800.0	25.75
七ヶ宿支部	6	617,658.6	556,727.8	110.94	2,289,964.0	26.97
蔵王支部	26	2,061,127.4	2,076,604.4	99.25	8,242,155.0	25.01
柴田支部	18	1,086,548.0	1,084,249.0	100.21	4,235,113.0	25.66
角田支部	7	581,314.0	500,718.0	116.10	2,145,845.0	27.09
丸森支部	13	851,986.0	823,497.0	103.46	3,153,507.0	27.02
仙台支部	12	987,797.2	975,470.5	101.26	3,879,344.0	25.46
名取支部	6	225,327.0	263,941.0	85.37	961,322.0	23.44
黒川支部	8	354,833.0	419,251.0	84.63	1,400,428.0	25.34
大崎支部	21	940,520.0	905,176.0	103.90	3,626,724.0	25.93
遠田支部	17	1,556,073.0	1,455,596.0	106.90	5,946,902.0	26.17
加美支部	20	747,188.0	776,927.0	96.17	2,810,605.0	26.58
鳴子支部	14	557,481.0	616,935.0	90.36	2,309,079.0	24.14
一迫支部	12	803,722.0	797,378.0	100.80	2,966,924.0	27.09
築館支部	15	577,805.0	571,642.0	101.08	2,096,661.0	27.56
瀬峰支部	8	331,546.0	341,331.0	97.13	1,281,173.0	25.88
迫支部	13	1,187,152.0	936,068.0	126.82	3,722,005.0	31.90
中田支部	9	397,518.0	362,429.0	109.68	1,432,193.0	27.76
東和支部	7	337,280.0	324,659.0	103.89	1,237,517.0	27.25
志津川支部	9	356,398.0	308,010.0	115.71	1,260,516.0	28.27
本吉支部	11	284,033.0	294,392.0	96.48	1,070,549.0	26.53
石巻支部	6	279,253.0	306,118.0	91.22	1,097,936.0	25.43
豊里支部	12	617,855.0	641,667.0	96.29	2,359,738.0	26.18
みやぎの酪農	292	17,392,600.4	16,914,059.8	102.83	65,943,000.0	26.38

※出荷戸数については、直近の数字です。

みやぎの酪農乳量(平均日量)



牛乳の日PRキャンペーン

宮城県牛乳普及協会



6月1日(木)ザ・モール仙台長町において、牛乳の日PRイベントを実施いたしました。

当日は、牛乳をよりおいしく飲んでいただこうと、牛乳に黒糖ときなこを合わせた“黒糖きなこ”、レモン果汁とガムシロップを合わせた“さわやかレモンミルク”、市販のBOSSラテベースを入れた“カフェラテ”の3種類を準備し、約500名の方に試飲していただきました。中でも“さわやかレモンミルク”は牛乳と混ぜるととろとろ

するためデザート感覚で楽しめるという大好評でした。

これから夏に近づくにつれ気温が上がるなか、熱中症対策としてもぜひ牛乳を飲んでいただきたいと思っております。

6月17日(土)、18日(日)、大崎市の鳴子峡レストハウスの特設会場において、ご当地のグルメの祭典「食楽まつり2017」が開催されました。当日は晴天に恵まれ、多くの来場者で賑わいました。

昨年に引き続き、大崎市岩出山にある、みちのくミルク株式会社さんと一緒に、来場いただいた約2000名のお客様に牛乳を試飲していただきました。

試飲していただいた方には抽選で、保冷バッグ、ポケットティッシュをプレゼントし、楽しんでいただけました。

今後も少しでも多くのイベントを実施し、消費者との交流を図るとともに、酪農乳業の理解醸成を行い、牛乳の消費拡大に繋がる普及活動を行ってまいります。



牛乳乳製品利用料理コンクール募集のお知らせ

宮城県牛乳普及協会

今年も牛乳乳製品を活用した家庭で手軽に作れる「牛乳乳製品オリジナルレシピ」を募集いたします。牛乳は加熱しても栄養価がほとんど変わらないため、飲むだけではなく、食材として幅広いメニューに活用することができます。

また、今年度より最優秀作品・優秀作品に選ばれた方は、11月11日(土)に開催される東北大会へ出場していただきます。皆様のご応募お待ちしております。

詳しい応募要項につきましてはHPまたは宮城県牛乳普及協会までお電話下さい。

贈賞内容

最優秀賞 / JTB商品券3万円、乳製品詰合せ

優秀賞 / JTB商品券2万円、乳製品詰合せ

優良賞 / JTB商品券1万円、乳製品詰合せ

1名

1名

8名



- 応募締切 / 平成 29 年 8 月 25 日 (金) 必着
- 宮城県大会 / 平成 29 年 10 月 26 日 (木) 仙台市内
- ホームページ / <http://miyagi-milch.jp/>
- フェイスブック / <https://www.facebook.com/milkcompetition.miyagi>

お問い合わせ先

宮城県牛乳普及協会 担当 / 飯塚

TEL 0229-34-2366

MAIL milk_fukyukyokai@miyagi-milch.jp

みなさまのご応募
お待ちしております!



支 部	生 産 者 名	頭 数	分 娩 月 日	授 精 種
蔵 王	(株)ゼルコパドリーム	1	8月	
蔵 王	(株)ゼルコパドリーム	1	9月 6日	乳牛性判別
蔵 王	(株)ゼルコパドリーム	1	10月 4日	I V F
蔵 王	(株)ゼルコパドリーム	1	12月 2日	乳牛性判別
蔵 王	(株)ゼルコパドリーム	1	12月13日	I V F

詳細等については、各支所、事業所等に問い合わせください。

理事会通信

【第2回理事会】

開 催 日 平成29年5月19日

付議事項 第1号議案 平成28年度決算監査にかかる監事監査報告について
 第2号議案 平成28年度決算書類の承認について
 第3号議案 通常総会の招集について
 第4号議案 定期賞与(6月期)の支給について
 第5号議案 全国酪農業協同組合連合会に対する増資について

【第3回理事会】

開 催 日 平成29年6月27日

付議事項 第1号議案 代表理事、常勤理事及び役付理事の選任について
 第2号議案 理事の順位について
 第3号議案 平成29年度理事の報酬の配分について
 第4号議案 平成28年度業務報告書の承認について
 第5号議案 平成28年度連結業務報告書の承認について
 第6号議案 株式会社みやぎの運送取締役及び監査役の推薦について

人事のお知らせ

区 分	氏 名	新 職	旧 職	発 令 日
正 職 員	日野みつ子	販売課販売係	指導課指導係(事務担当)	平成29年7月1日
正 職 員	飯塚 大智	販売課牛乳普及係(兼)販売係	販売課販売係	平成29年7月1日
正 職 員	鹿野 浩子	指導課指導係(事務担当)	購買課購買係	平成29年7月1日
正 職 員	佐々木晶子	購買課購買係	販売課牛乳普及係(兼)販売係	平成29年7月1日
正 職 員	細谷 信宏	仙南支所総務係長	仙南支所総務係	平成29年7月1日
正 職 員	日下ふみ江	仙南支所業務係長	仙南支所購買係	平成29年7月1日
正 職 員	二本木 一	仙北集乳所販売係	販売課販売係	平成29年7月1日
正 職 員	佐藤 克憲	本吉哺育育成センター所長	哺育育成センター生産係	平成29年7月1日
正 職 員	小高 由枝	正職員 購買課購買係	有期契約職員 購買課購買係	平成29年7月1日

5月1日	東北生販業務打合せ	仙	台	市
5月8日	役員候補者推薦会議 会計検査院受検関連打合せ	本	台	所
5月9日	決算監査	仙	台	所
5月10日	宮城県東部地方振興事務所管内畜産担当国会議 栗原管内畜産関係機関担当国会議 決算監査 酪農ガールズ総会 酪農経営支援総合対策事業全国説明会	石	巻 原	市 市
5月11日	決算監査 宮城県北部地方振興事務所管内農政推進会議	大	河 原 京	町 都
5月12日	全国和牛能力共進会宮城県実行委員会幹事会 全国和牛能力共進会宮城県実行委員会総会 酪農振興関係事業打合せ	大	崎	市
5月15日	青年部本吉支部総会 畜産クラスター（機械導入）申請等打合せ会	仙	台	市
5月16日	宮城県家畜人工授精師協会本吉支部総会 DMS相談会 畜産クラスター（機械導入）申請等打合せ会 七ヶ宿支部総会	仙	台	市
5月17日	日本酪農政治連盟常任・中央委員合同委員会 自民党東北酪政会総会	気	仙 沼 南 支	支 所
5月18日	東北生販事業推進委員会 （一社）全国酪農協会理事会	仙	南 沼	支 所
5月19日	みやぎまるごとフェスティバル事務局会議 第2回理事会 DMS相談会 農業制度資金事務担当国会議	本	石 京	市 都
5月22日	肉用子牛生産者補給金制度等業務推進会議	東	京	都
5月23日	大崎地域畜産共進会（全共大崎地域選抜会） 生乳の安全安心の確保のための東北地域協議会	仙	台	市
5月24日	指導担当国会議 指導担当職員研修会 宮城県仙台家保管内畜産担当国会議	本	南 支	所
5月25日	東北六県牛乳普及協会・支所担当者合同会議 黒川支部総会 東北生販支所実務者会議	大	美 里	町 町
5月26日	宮城県酪農団体合理化検討会 青年部登米支部研修会	仙	台	市
5月27日	柴田支部総会	本	石	所
5月29日	指定団体機能強化推進委員会 宮城県牛群検定普及推進協議会作業部会	村	巻 田	町 市
5月30日	（一社）Jミルク理事会 宮城県牛乳普及協会事務局会議	仙	台	市
5月31日	支部長会議 ～6月1日	東	京	都
6月1日	牛乳の日PRキャンペーン	本	松	町
6月2日	東北酪農青年女性会議役員会	仙	台	市
6月5日	全酪連仙台支所との打合せ 全酪連・みちのくミルク（株）懇談会 ～6日	仙	台	市
6月6日	東北生販理事会 婦人部本吉支部総会	大	崎	市
6月7日	全酪連役員選考委員打合せ 東北酪農専門団体協議会総会 東北生販・酪農協懇談会	仙	登 米	市 市
6月8日	東北酪農生産研究会総会・委員会 ～9日 宮城県牛乳普及協会監査会	仙	台	市
		本	台	所

6月9日	東北生販支所実務者会議 (一社)全国酪農協会役員会	仙 台 市
6月12日	(一社)宮城県畜産協会理事会	東 京 都
6月13日	地区別説明会 東電損害賠償宮城県協議会第54回総会	大 河 原 町
6月14日	地区別説明会 宮城県牛乳協会総会 算定基礎届事務講習会 青年部栗原支部総会	大 仙 台 市
6月15日	地区別説明会	本 仙 台 市
6月16日	(一社)Jミルク総会・理事会 岩手雪運(株)設立50周年記念式典・祝賀会	大 崎 市
6月17日	食楽まつり2017 ～ 18日	栗 原 市
6月18日	全国和牛能力共進会宮城県最終選考会	登 米 市
6月19日	(公社)みやぎ農業振興公社総会 東北生販監査会	東 京 都
6月20日	遠田支部役員会 (一社)中央酪農会議総会・理事会	岩 手 県
6月21日	平成29年度酪酪事業実施計画承認申請書のヒアリング 宮城県牛乳普及協会理事会 ～ 22日	大 崎 市
6月22日	宮城県酪農ヘルパー利用組合役員会 婦人部栗原支部総会 (一社)全国畜産配合飼料価格安定基金総会 蔵王デイリーパイオニアセンター竣工式・祝賀会	美 里 町
6月23日	役員協議会	仙 台 市
6月24日	宮城県ブラックアンドホワイトショウ	本 仙 台 市
6月26日	婦人部登米支部総会	栗 原 市
6月27日	第68回通常総会 第3回理事会 第2回監事会 遠田地区安全運転管理者事業主会等総会	東 京 都
6月28日	(一社)全国酪農協会総会・役員会 馬瀬口弘志氏旭日中綬章受章記念祝賀会	蔵 王 町
6月29日	(一社)宮城県畜産協会総会 (農)モーランド総会 酪農教育ファーム東北地域推薦委員・支所担当者合同会議 (一社)酪農ヘルパー全国協会総会 (株)みやぎの運送総会 ～ 30日	本 美 里 町
6月30日	婦人部仙南支部総会 JA宮城中央会総会	大 崎 市

[編集後記]

今年の夏は、スーパー猛暑日と言われています。スーパー猛暑日とは、気温が37℃を越える状態を指す言葉だそうです。この夏をいかにして乗り切ろうかと考えようにも考えたくない気温の数字です。あまり暑くならないように願うばかりです。

今年の夏も人も牛も夏バテしないよう気をつけて過ごしていきましょう。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)